

令和 7 年度全九州高等学校体育大会 第 73 回全九州高等学校水泳競技大会

監督者会議資料(二次要項)

監督会議 令和 7 年 7 月 18 日(金) 16:00～ パーソルアクアパーク会議室

【会 順】

- | | | |
|-------------|----------------------------------|------------------------|
| 1 あいさつ | 一般財団法人宮崎県水泳連盟
九州高等学校体育連盟水泳専門部 | 理事長 水島千江子
委員長 川崎 真琴 |
| (表 彰) | | |
| 2 競技について | | 審判長 上口 将生 |
| 3 諸連絡 | 宮崎県高等学校体育連盟水泳専門部 | 委員長 川崎 真琴 |
| 4 宿泊・弁当について | | (株)TEAM |
| 5 質疑応答 | | |

1 競技について

(1)本競技会は 2025 年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。

(2)メインプール50m×10レーンの公認プールで実施する。

- ① メインプール 50m×10レーン 水深2.0m 水温 27.0度
- ② サブプール 25m×8レーン 水深1.6m 水温 27.0度
- ③ 競技は予選10レーン、決勝10レーンでタイムスケジュールに従い実施する。
- ④ 決勝には予選結果上位10位が出場できる。ただし棄権者が出た場合は予選上位より順次出場権を与える。
- ⑤ 決勝進出について、同記録で予定人数を超えた場合、200m以下の種目についてはスイムオフを行う。時間については追って連絡をする。それ以外の種目(400m以上)については抽選とする。
- ⑥ 補欠が同記録で複数いる場合は抽選にて優先順位を決める。補欠は2名とする。

(3)棄権について

- ① 予選を棄権する場合は、所定の棄権用紙(書式③)を記入し、当日予選競技1時間前(18日は監督会議開始前)までにリゾリレーションディスクに提出すること。
- ② 決勝競技は正当な理由(傷病または不測の事態等)なく棄権することはできない。仮に棄権する場合は該当レースの開始時間の1時間前までに所定の棄権用紙(書式④)を記入し、引率責任者と各県専門委員長同伴で審判長に届け出ること。正当な理由がない場合は、予選で標準記録を突破していても、記録を認めない場合がある。

＊ 棄権申告後、大会総務により棄権の受理および繰り上げ選手の決定を行う。

(4)選手の招集について

- ① 第 1 招集は特に必要としないが1-(3)の棄権届出用紙をもって確認する。
- ② 競技の進行状況に注意し招集を受けること。招集は 20 分前から行う。本人確認後、招集所受付で

水着の国際水泳連盟(WORLD AQUA)の認証マークの確認を行う。マークのない水着での出場は認めない。剥がれてしまった場合は「世界水泳連盟マーク剥離による確認表(書式⑨)」を提出し、審判長の許可を取る。

③ 決勝進出者に棄権が出た場合は、補欠の選手およびチームは繰り上げ出場となるため、補欠 2 名(2 チーム)も必ず決勝の招集を受けておくこと。

④ 招集場所は予選と決勝で異なるので注意すること。

(5)怪我等でテーピングや絆創膏等使用しなければならない場合は「テーピング等許可願(書式⑩)」をリゾリューションへ提出すること。審判長の確認後使用の判断を行う。

(6)スタートについて

① スタートの合図は「Take your mark(s)」で行う。

② 予選競技において、リレーおよび背泳ぎ競技を除きオーバーザトップ方式で行う。次の組のスタート完了までは水中で待機すること。

③ スターティングブロックの調整は前泳者がスタート(入水)してから各自で行うこと。

④ バックストロークレッジの投入は競技役員が行うが、調整は各自で行うこと。

(7)800m・1500m自由形競技の際は、折り返し側に水中ラップカウンターを用いるので選手は以下の表示回数を確認すること。(競技役員によるコールは行わない)

距離	1450	1350	1250	……	750	650	550	450	350	250	150	50
表示	29	27	25	……	15	13	11	9	7	5	3	1

(8)ゴールタッチはタッチパネルの有効面に確実にタッチすること。

(9)バックアップは半自動装置を使用する。

(10)リレーの引継ぎは、PT8000 により判定する。(−0.03 秒までを許容範囲とする)

(11)リレーオーダー用紙(書式⑤)の提出先はリゾリューションディスクとし、以下の時間までに提出すること。提出後のメンバーの変更は特別な事情(選手の体調不良やケガ、緊急な事情)以外認められない。

リレーオーダー用紙	予選	決勝
4*100mリレー	7月19日(土) 8:30まで	同競技開始時刻 1 時間前
4*200mリレー		7月20日(日)12:00 まで
4*100mメドレーリレー	7月21日(月) 8:30まで	同競技開始時刻 1 時間前

(12)選手紹介および入場について

① 予選競技は組のみの紹介とする。

・50m 自由型は招集③での招集となるが、入場の際は招集所周辺に衣類・荷物を置いて水着のみで入場する。

② 決勝は 0 レーンの選手から順に決勝ゲートより選手紹介を行い入場する。

(13)レース後の退水について

① 予選およびリレー競技は自レーンより退水し、退場口からサブプールへ速やかに退場する。

※退場口で立ち止まらない(掲示板の確認等はしない)よう注意すること。

・100m以上種目は自レーンの荷物カゴから各自荷物の忘れものがないように退場する。

・50m種目の選手は一旦サブプールへ退場し、北側スタンド前通路を通り、自分の荷物を取りに行くこと。

② 決勝については横退水とする。(リレー種目は自レーン退水)

・退場口は1か所となるので注意すること。選手の荷物カゴは退場口側サブプールに移動するので、レース後に忘れないように持っていくこと。

(14) 1位～3位に賞状を授与し表彰する。表彰は男女同競技終了後に行う。3位までに入賞した選手(リレー競技は各チーム4名)は指定された場所に待機すること。その際、小旗・タオル・部旗等の持ち込みは禁止とする。

(15) 抗議について

① 本大会は上訴審判団を設置する。

② 失格の内容等について疑義がある場合、チームの監督(引率責任者)は事象発生(通告)後 30 分以内に審判長に対して抗議をすることができる。抗議を行う際には、預かり金として 50,000 円を添えて所定用紙(書式⑪)をリゾリューションデスクに提出する。

③ 抗議としてではなく、失格内容についての質問(問い合わせ)を行う場合はリゾリューションデスクに申し出る。

④ 審判長の説明に納得した場合、抗議は終了し、預かり金は大会本部に徴収される。

⑤ 審判長の説明によっても疑義が解消しない場合、上訴することができる。上訴する場合は所定用紙(書式⑪)に必要事項を記入の上、リゾリューションデスクに再度提出する。

⑥ 裁定結果はチームの監督(引率責任者)に対して説明される。抗議が受理された場合、失格は取り消される。その場合、預かり金は返却される。上訴が棄却された場合、預かり金は大会本部に徴収される。

2 諸連絡

(1) 大会参加状況 参加校: 195 校 男子 133 校 女子 139 校
参加選手: 1,127 名 男子 634 名 女子 492 名

(2) 今大会は有観客で実施する。ただし、選手席(引率責任者・コーチ)と一般席を区分する。また、動画配信も実施する(7月19日～21日)

(3) 開会式および閉会式は各観戦席にて参加すること。

① 前年度優勝校は開会式に参加し、優勝旗等の返還を行う。

② 今大会で 3 位までに入賞した学校は表彰があるので閉会式へ代表生徒が参加し表彰を受けること。

(4) プログラムについて

① プログラムは各学校に 1 冊、各県の専門委員長に 3 冊配布する。

② プログラム記載事項の誤りは、プログラム訂正用紙(書式②)に記入の上、監督会議終了後 60 分後までに受付へ提出すること。

③ プログラムは 1 部 1,000 円で 2 階入り口にて販売する。(数量限定)

(5)会場利用について

① 開場時間およびプールの利用時間について

	7月18日(金)	7月19日(土)	7月20日(日)	7月21日(月)
選手・監督入場	12:00	7:30	7:30	7:30
競技開始時刻	16:00	10:15	10:00	10:00
メインプール	12:30～15:40 競技終了後 60 分	7:30～9:40 競技終了後 60 分	7:30～9:40 競技終了後 60 分	7:30～9:40
サブプール	12:30～ 競技終了後 60 分	7:30～ 競技終了後 60 分	7:30～ 競技終了後 60 分	7:10～ 競技終了後 60 分
保護者入場	16:30	9:30	9:30	9:30

- ② 保護者席および1・2階エントランス付近以外は土足禁止とする。(上履きは使用可)
- ③ 選手控え観覧スタンド割り振りは県別に設定します(別紙参照)
- ・ スタンドは参加人数で調整し県別に設定する。日ごとのローテーションを行う。
 - ・ 控え所における毎日の撤収は義務付けないが、整理整頓をしてゴミの放置のないように退館すること。
- ④ 更衣については更衣室を使用すること。選手控え場所で更衣等を行う場合、更衣テント等を設置して周囲の目に触れないようにすること。更衣室内でのスマートフォンを含むカメラ付きモバイル機器の使用は禁止します。使用した場合は、盗撮行為とみなし警察へ通報します。全館ビデオカメラで監視しています。
- ⑤ 盗難防止のため、更衣室に荷物を置きっぱなしにしないこと。サブプールでは赤台の上に目の届く範囲で荷物を置き各自で管理すること。
- ⑥ 指定されている通路(選手導線含む)、非常扉などの前に荷物を置かないこと。
- ⑦ 選手は身体をきれいに拭いて、更衣室や動線を濡れたまま歩かないようにすること。
- ⑧ マッサージベッドスペースは各県専門委員長を通して申し込むこと。スペースに限りがあるため設置できない場合もある。(原則各県1台とする。)
- ⑨ 部旗については7月16日(水)までに開催県に郵送すること。但し、設置場所については開催県に一任することとなる。

〒880-0056 宮崎市神宮東1丁目3番10号

宮崎県立宮崎大宮高等学校内

宮崎県高体連水泳専門部 委員長 川崎真琴 宛

※ 部旗の回収に対しては7月18日(金)学校受け付け時に回収希望日時調査用紙を配布するので、監督会議

終了時まで提出すること。

⑩ 撮影について

ア) 競技プールのプール内(両側観客席の撮影で、スタート側からターン側までの範囲に限る)の撮影は許可する。ただし、スタート台後方からの撮影は禁止とする。

イ) フラッシュ撮影は禁止です。

ウ)参加選手または保護者および関係者が私的に撮影した動画や画像を「YouTube」等の動画配信サイトや SNS その他の公的な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けること。また、会場内の BGM をそのまま使用すると著作権の侵害となります。撮影許可は会場内での撮影を許可するものであり、これらの権利を許諾するものではありません。

(6)練習会場について

①メインプールについて

●7:30～8:50および競技終了時刻から60分まで ※18日は公式スタート練習は行わず、12:30～15:40まで下記の通りの使用とする)	
0レーン	ペースレーン 400m以上の種目に出場選手のみ
1～7レーン	通常アップレーン ※前後の距離をとること
8・9レーン	ダッシュレーン 50m (途中で止まらず折り返し側からあがること)
●公式スタート時間帯(8:50～9:30)	
0～1レーン	ペースレーン 400m以上の種目に出場選手のみ
2～9レーン	公式スタート練習レーン(ターン側から実施、途中で止まらないこと)

②サブプールについて

7レーン	ダッシュレーン(水深 1.6m を考慮し安全面に注意すること)
1～6レーン	アップおよびダウンレーン
0レーン	ペースレーン 400m以上の種目に出場選手のみ

③ キックボード・プルブイ以外の使用は禁止します。(フィン・パドル・チューブ・シュノーケルの使用禁止)

※ その他、他の選手にけがをさせる恐れのある用具の使用についても禁止とする。

④ 競技中におけるサブプールでのホイッスル使用は不可とする。

⑤ プールへの入水はターン側のみとし、各レーンのスタート台左側とする。用具等については左側にはおかないこと。入水の際は安全確認を行い足から入水すること。

⑥ メインプールでのダッシュコース、ペースコースの指示は上記のとおりとするが状況に応じて変更する場合がある。その場合は電光掲示板において表示し、放送により案内をするのでその指示に従うこと。

⑦ 途中で止まらずに最後まで泳ぎ切ること。止まっている選手休んでいるものとみなし、クロールで追い抜くこと。

⑧ レーンロープにはつかまらないこと。

(7)記録速報等

① 公式掲示板を 1F・2F 入場口正面に設ける。

② 競技結果を、以下の LRS(Live Results Swimming)『新超速』に掲載する。

URL:<https://live-results.swim.or.jp/>

(8) 駐車場について

- ① プール横駐車場は競技役員および保護者を除く学校関係者車両(マイクロバス含む・宿泊申し込みに記載のある学校)のみとします。『有料になります最大料金600円』
- ② 保護者・一般観覧者につきましては宮崎駅周辺一般駐車場(別紙J)をご利用ください。
各学校へ駐車場案内を宿泊決定通知に同封しますので、学校の責任で保護者へお伝えください。
・宮崎駅周辺駐車場の料金はほぼ同額です。
- ③ 大型バスは駐車許可を得た車両のみプール東側駐車場を許可しますので、許可証に記載されています場所での駐車をお願いします。
- ④ 帯同コーチ・スイミング関係者も保護者・一般観覧車と同様の扱いとなりますのでご周知ください。

(9) その他

① ゴミの処理について

- * 大会中各チームから出るごゴミは責任をもって持ち帰ること。
- * 大会委託業者以来の弁当については、持ち帰るか各校で依頼した業者と連絡をとり確実に回収してもらうこと。「玄関前に置いて回収してもらうことは禁止とします」

② 忘れ物の処理について

- * 大会本部およびプール施設管理者では忘れ物の管理、保管は一切しない。帰る際には今一度、確認すること。
- * 大会終了後、忘れ物に気づいたら下記連絡先にメールで問い合わせる。忘れ物を郵送で希望の場合は、「着払い」にて送ることとなる。

(個人からの問い合わせは認めません。必ず所属チームの責任者を通して連絡すること)

問い合わせ先

宮崎県高体連水泳専門部 委員長 川崎 真琴(宮崎大宮高等学校)

Meil:makotaka10961538@yahoo.co.jp

③ 不審者対応

競技役員等で巡回警備を行うが、不審者を見かけたら本部まで連絡すること。

④ 盗難・盗撮防止について

- * 貴重品等は各チームで管理すること。プール施設管理者および大会本部は一切責任を負いかねる。

⑤ 施設使用について

- * 大会中は施設(プール・控え所・観客席・トイレ・更衣室等)の利用はルールとマナー、常識を持って使用すること、もし破損等をした場合は、当該引率責任者が本部まで連絡すること。状況によっては該当チームの保証とする。
- * 施設内でのコンセント類の使用は禁止する。(特に更衣室等での充電で利用しないこと)

⑥ 会場周辺

- * 西側一般道路は狭くなっています。周辺コンビニエンスストア等への経路ともなりますが、十分注意し信号等の交通ルールを守ること。